

Trio George Sand et Violaine Despeyroux

Le voyage imaginaire de Mozart au Japon

～モーツァルトのニッポン空想紀行～

2023. 11. 3 金・祝

13:30 開場 14:00 時開演

第1部

- 「コジ・ファン・トゥッテより序曲」 (ピアノカルテット)
- バルテュスとモーツァルトのお話
- 「乱」八橋検校 (箏)
- 「ドン・ジョバンニよりセレナーデ」 (トリオ+箏)
- 新曲「縫い」藤倉大 (トリオ)
- 「劇場支配人より序曲」 (ピアノカルテット)

第2部

- 望月京による新曲 (ピアノカルテット+箏カデンツァ (ソロ))
- モーツァルト ピアノカルテット第1番ト短調

ゲスト

大谷祥子 節子 クロソフスカ・ド・ローラ

会場

京都市男女共同参画センター ウィングス京都 イベントホール

チケット

一般前売 3,000 円 (当日 3,500 円)

学生前売 2,000 円 (当日 2,500 円)

高校生以下無料

お問合せ

アトリエ若松 kyotosand111@gmail.com
ジャポニスム振興会 paris_bureau@japonisme.or.jp

お申込み



主催: MusicaMedicis アトリエ若松 | 特別協力: ジャポニスム振興会 | 後援: 京都市 京都日仏協会 古典の日推進委員会 笹川日仏財団

Le voyage imaginaire de Mozart au Japon

～モーツァルトのニッポン空想紀行～

*

「モーツァルトがああ時代にもし日本に旅行していたら?」という発想から始まった、フランスの音楽家ジョルジュサンドトリオとヴィオレーヌ・デスペルーによる企画。現代日本人アーティスト、節子クロソフスカ・ド・ローラ、作曲家の望月京と藤倉大による新たな視点を得て、この偉大な作曲家と日本を意外な形で繋げたプログラムです。

第1部では、節子クロソフスカ・ド・ローラが登場し、モーツァルトの音楽が夫である巨匠バルテュス(1908-2001)と自身の創作活動にどんな影響を与えたかを語り、バルテュスが愛好したオペラをテーマとしています。モーツァルトは、史上最も重要な

オペラ作家の1人でもあり、その代表的なオペラからの抜粋を編曲により聴いていただけます。室内楽曲との違いをお楽しみください。更に、箏曲家大谷祥子が詩的な趣を添え、モーツァルトの音楽の中で、日本の古典楽器が弦楽器と混ざり合います。第2部ではモーツァルトのピアノカルテット短調を演奏します。日本を代表する作曲家の望月京と藤倉大がこの企画のために作曲した作品を演奏いたします。(2024年度にはこの企画の録音が行われ、リーフレット付きCDを発表予定)

profile



Trio George Sand
ジョルジュ・サンドトリオ

ジョルジュ・サンドトリオは、ラ・フォル・ジュルネやサンクトペテルスブルク国際音楽祭、ヴェニスフェニーチェ劇場などで、多くの観客に支持される。音楽への情熱と室内楽に対するビジョン、聴衆を楽しませると同時に物語に引き込む力、そのバランスが魅力。レパートリーはハイドンの時代からロマン派を経て、現代音楽まで250年間をカバーし、数々のCDを録音している。LCIではローマ賞にちなんだ「Escale Romaine」(ローマで寄り道)コンサートのドキュメンタリーが制作され、メディチ館やフェニーチェ劇場などで上映。フランスで著名な歌手ジュリエットやコメディフランセーズのロイック・コルベリーやディディエ・サンドルなど、他ジャンルの才能とのコラボレーションも多い。

Virginie Buscaïl

ヴィルジニー・ビュスカイユ
ヴァイオリン

パリ国立高等音楽院を首席で卒業した後、1996年にフランスを代表するオーケストラの1つフランス放送フィルハーモニックオーケストラに入団し現在はコンマスの1人。

常任指揮者のミッコ・フランクの元ヴァイオリンソロを務める傍ら、ルーブル美術館ホールやリヨルネサンス劇場でのソロ公演、オーギュスタン・デュメイ、ボリス・ベレゾフスキーなど多くのフェスティバルで共演している。(ヴァイオリン:1729年製ドメコ・モンタニャー)

Diana Ligeti

ディアナ・リゲティ
チェロ

マルタ・アルゲリッチやボリス・ベレゾフスキー、フィリップ・アントルモンといった著名な音楽家と共演。Musique Oblique, Calliopée という2つのアンサンブルのメンバー。CDはオペラマガジンのダイヤモンド賞、音楽世界の賞など多くの賞を獲得している。演奏活動の傍らパリ国立高等音楽院、マルメゾン音楽院で後進の指導に当たる。ドゥアイ国際チェロコンクール第一位。リゲティトリオで第1回大阪国際室内楽コンクール第1位。

Anne-Lise Gastaldi

アンヌ・リーズ・ガスタルディ
ピアノ

ミュンヘン国際音楽コンクールなどいくつかの国際コンクールに入賞し、ローマメディチ館での若い才能を育てるプログラムに入賞。深い音楽的理解に基づいた繊細で色彩豊かな演奏に定評がある。パリ国立高等音楽院の音楽教育科とピアノ科、リヨン国立高等音楽院ピアノ科で教鞭を取る傍ら、パリ地方音楽院で若い才能を育てる。他ジャンルとのコラボレーションプロジェクトを実現し、カプールのマルセルブルースト音楽祭、ヴァルディゼール音楽祭のアーティストディレクター、Billaudot 出版のコレクション部門ディレクターを務める。



Violaine Despeyroux
ヴィオレーヌ・デスペルー
ヴィオラ

パリ国立高等音楽院、ミュンヘン音楽大学、エリザベート王妃音楽大学などで研鑽を積んだ後、正確かつ刺激的なエネルギーを持つ、個性的な演奏家として、ジュネーブの高評価を得ている。演奏活動の傍らパリ国立高等音楽院、マルメゾン音楽院で後進の指導に当たる。ドゥアイ国際チェロコンクール第一位。リゲティトリオで第1回大阪国際室内楽コンクール第1位。



節子 クロソフスカ・ド・ローラ
ユネスコ平和芸術家

東京都出身。上智大学外国語学部フランス語学科に在学中、1962年来日の画家バルテュスと出会い、大学を中退して1967年に結婚。アカデミー・ド・フランス(ヴィラメディチ)の館長を務めるバルテュスを支え、ローマで15年間暮らす。1977年、スイスのグラン・シャレに移り住む。2001年に夫と死別し、2002年にバルテュス財団を発足。グランシャレでの生活、ヨーロッパで纏う着物などについての著作には多くのファンがいる。2005年、ユネスコ平和芸術家に任命される。2004年よりアスティエドヴィラット社の陶器デザインを担当する傍ら、陶芸彫刻家、画家として展覧会を開催。2023年にはスイス、ソウルなどで展覧会を開催する予定。



大谷祥子
箏曲家

本願寺裏方。一般財団法人本願寺文化興隆財団理事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。賢順記念全国コンクール1位。平成13年度文化庁インターンシップ研修生。平成25年度文化庁芸術祭新人賞受賞。第40回(令和3年度)京都府文化賞功労賞。古典邦楽のみならず、様々なジャンルのアーティストと共演、全国でコンサートを展開。伝統文化を未来へつなぐ活動を行う。あわら市の吉崎御坊運如上人記念館館長、京都市「DO YOU KYOTO?」大使、古典の日推進委員会アドバイザー、ジャポニスム振興会副会長などを務める。

会場

京都市男女共同参画センター ウィングス京都 イベントホール

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地

※一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください

お申込み



お問合せ

アトリエ若松 kyotosand111@gmail.com
ジャポニスム振興会 paris_bureau@japonisme.or.jp

主催: MusicaMedicis アトリエ若松 | 特別協力: ジャポニスム振興会
後援: 京都市 京都日仏協会 古典の日推進委員会 笹川日仏財団

